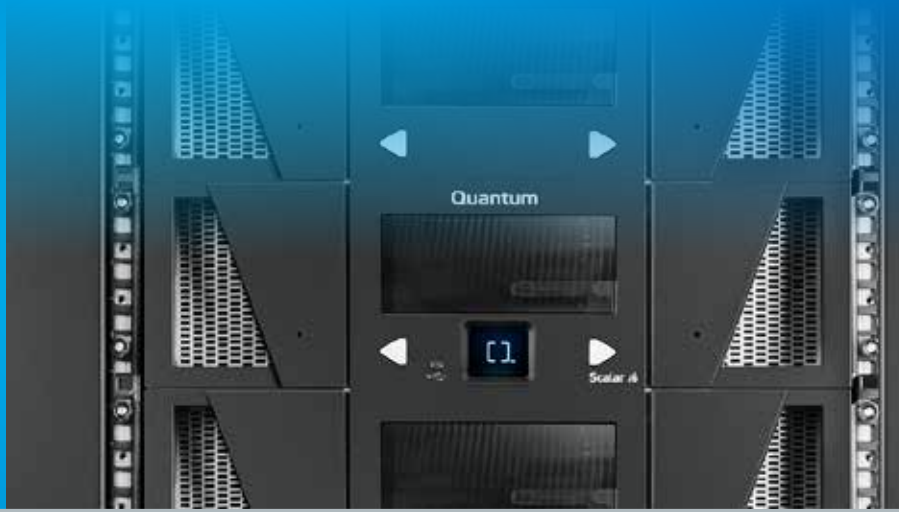


Quantum®

Scalar i6



> DATASHEET

効率的でインテリジェントなエンタープライズスケールのテープストレージ

非構造化データの大幅な増加が、あらゆる業種のIT組織に戦いを挑んでいます。管理下にある膨大な規模のデータと、その急激な増加率が、新しいレベルのストレージの効率性を要求しています。多くの組織は、最良のアプローチが、パフォーマンスとコストのバランスが取れた、スケーリングが容易に行える、インテリジェントなマルチ階層型のストレージ・ソリューションであること、しかもそれはユーザーがすべての保存されているコンテンツに簡単にアクセスできるようにするソリューションであることを理解しつつあります。最もコストの低いストレージ・テクノロジーとして、テープは、このような新しいソリューションにおいて重要な役割を担っています。Scalar® i6は、要件の過酷なワークフロー環境向けに、最も効率的で最も低コストのストレージ・ソリューションを提供します。

高い効率性

Scalar i6は、単一の19インチ・ラック内で最大12PBまでのクラス最高のストレージ密度を提供するため、データセンター内における貴重なフットプリントを最小化できます。また、Scalar i6が搭載している80 PLUS®の認定取得の電源は、電力および冷却コスト削減し、現在の運用費をさらに最小化できます。さらに、プロアクティブな診断のためのiLayer™ソフトウェア機能やRESTful Webサービスにより、ライブラリ管理にかかる貴重な時間を削減できます。

データの整合性とセキュリティ

ポリシーベースのデータ整合性チェックは、拡張データ・ライフ・マネージメント(EDLM)機能によって自動化されており、これにより保存されているコンテンツが読み取り可能な状態にあることが保証されます。クアンタムのStorNext®のようなインテリジェントなデータ管理アプリケーションを使用すると、疑わしいテープがコンテンツを新しいテープへ自動的に移動させるような、自己修復が可能なライブラリを作成できます。また、ライブラリ内のボルト機能は、顧客のデータセンター内におけるセキュリティにより保護された長期ストレージを提供します。さらに、AES 256ビット暗号化やメディア取り出し通知など、その他のセキュリティ機能を使うことで、貴重なコンテンツを不正アクセスから守ることを保証できます。

スケーラビリティ

モジュール型の設計により、容量の増加を管理するためのスケーラビリティを簡略化できます。Scalar i6の各モジュールは、最大で3台のフルハイトのLTOテープ・ドライブと最大100個のストレージ・スロットをサポートするため、モジュール1台あたり最大で1.5PBのストレージを提供できます。25スロットを増分単位とするキャパシティ・オン・デマンド(COD)方式のライセンスは、顧客のストレージ・コストをPay-As-You-Grow(成長に合わせて投資する)型のアプローチでより良く管理するための細かい粒度を提供します。これにより、単一の19インチ・ラック内で、750TBから最大12PBまでの容量のスケーリングが可能となります。

主な特長と利点

クラス最高のストレージ密度

単一の19インチ・ラック内で最大12PBの容量をサポートするため、データセンターの貴重なフットプリントを削減

拡張データ・ライフ・マネージメント(EDLM)

自動化された整合性チェックにより、保存されているデータを可読状態に維持することを保証

アクティブ・ボルト

セキュアなライブラリ内のボルト機能により、コスト削減、セキュリティの強化、ボルト化されたコンテンツへのアクセスの簡略化を実現

キャパシティ・オン・デマンドによる成長

中断なしに迅速、簡単にスケーリングが可能

プロアクティブなモニタリングと診断

運用に影響が出る前に問題を解決することでライブラリのアップタイムを最大化

80 PLUS認定電源

消費電力と冷却コストを最小に抑える高効率でグリーンな電源

Advanced Reporting

リソースのバランス、セキュリティの向上、予算や計画の改善に有効なメディア、ドライブ、およびメディアのセキュリティに関するレポート。レポートのスケジューリングと配信の自動化により時間を節約

高可用性(HA)機能

冗長電源とバス・フェイルオーバーにより、障害発生時にもダウンタイムを回避

プロアクティブなモニタリングと診断

システム全体が円滑に動作することを保証。多くの場合、障害が発生する前に問題を解決するためのガイド付き手順を提供

暗号化キー管理

KMIPに対応するFIPS検証済みのソリューションによって、キーの管理が容易になり、データ漏洩のリスクを軽減。AES 256ビット暗号化規格による最高レベルのセキュリティ



> 詳細はこちら
www.quantum.com/jp/tape

容量構成

システム容量							
モジュール数	フォーム・ファクタ	最大スロット数	最大ドライブ数	最大容量:TB(PB)*			
				LTO-6		LTO-7	
				TB	PB	TB	PB
1(1CM)	6U	100	3	625	0.6	1,500	1.5
2(1CM,1EM)	12U	200	6	1,250	1.25	3,000	3.0
3(1CM,2EM)	18U	300	9	1,875	1.9	4,500	4.5
4(1CM,3EM)	24U	400	12	2,500	2.5	6,000	6.0
5(1CM,4EM)	30U	500	15	3,125	3.1	7,500	7.5
6(1CM,5EM)	36U	600	18	3,750	3.75	9,000	9.0
7(1CM,6EM)	42U	700	21	4,375	4.4	10,500	10.5
8(1CM,7EM)	48U	800	24	5,000	5.0	12,000	12.0

最小容量は50スロット。追加スロットはキャパシティ・オン・デマンド (CoD) ライセンスでアクティブ化できます。

* 2.5:1の圧縮を想定

動作

インターフェースオプション:	8Gb FC(ライブラリ制御およびデータ用)、1GbE(管理用)
インベントリ速度:	約1~6分(構成により異なる)
ファームウェア・アップデート:	最新のライブラリとドライブのコード・レベルを確実にご使用いただくため、ファームウェア更新の自動チェックを選択できます。
構成:	設置または追加されたコンポーネント(モジュール、テープ、ドライブ、マガジンなど)に対する自動検出と自動キャリブレーション
ライブラリパーティショニング:	最大15パーティションをサポート
インポート/エクスポート:	すべてのモジュールで5スロット増設により0~50に構成可能

信頼性

ライブラリMSBF:	2,000,000回以上
ライブラリMTTR:	30分
電源:	2N構成の電源オプション
診断機能:	ライブラリ監視の主要サブシステムに組み込まれたプロアクティブな診断により、自己診断手順およびシステム管理者とのポリシーベースの通信を実行
モジュール・アップグレード:	どのモジュールでも30分未満で増設可能。すべてのコンポーネントがユーザーで設置可能

外形仕様

モジュール	高さ x 幅 x 奥行
制御モジュール	26.5cm x 44.1cm x 92.45cm
拡張モジュール	26.3cm x 44.1cm x 92.45cm

ラック据え付け要件

- ライブラリは標準的な19インチの4柱型のラック筐体に据え付けること
- ラックの最小奥行:1070mm

ソフトウェア互換性

Scalar i6と互換性のあるソフトウェアとプラットフォームの完全な一覧については<http://www.quantum.com/swcompguide.aspx>にある最新のクアンタム・ソフトウェア互換性ガイドを参照してください。

規格・認証

安全規格:	IEC 60950および世界各国の独自修正基準
電磁波放射基準:	CNS13438 Class A, EN55022:2010 Class A, FCC Part 15 Class A, KN 32, VCCI
電磁耐性基準:	EN55024, KN 35
国際認証:	CE(欧州)、VCCI(日本)、TUV/GS(ドイツ)、FCC(米国)、ICES(カナダ)、cTUVus(米国、カナダ)、EAC(EuroAsian Conformity Mark)、KCC(韓国)、BSMI(台湾)

使用環境

電圧:	100~240 VAC, 50~60Hz
電源:	80 PLUS認定
温度:	16~35°C(動作時)
湿度:	20~80%(動作時、結露なし)

ドライブ容量とパフォーマンス

ドライブタイプ	カートリッジ容量 非圧縮/圧縮* (TB)	ドライブのスループット 非圧縮/圧縮* (MB/秒)
LTO-7	6.0 / 15.0	300 / 750
LTO-6	2.5 / 6.25	160 / 400

LTO-7およびLTO-6テープドライブは、暗号化とLTFSをサポート

* 2.5:1の圧縮を想定

高度な機能

EDLM:	自動化されたポリシーベースのデータ整合性チェック
アクティブ・ポルト	ライブラリ内のメディア・ポルト機能
Advanced Reporting:	メディア整合性解析レポート、メディア使用率レポート、ドライブ使用状況レポート、セキュリティレポートおよびメディア取り出し通知。レポート自動作成と配布リストへの配信機能を備えたレポートスケジューリング
パス・フェイルオーバー:	制御パスおよびデータ・パス・フェイルオーバー

当製品の販売に関するお問い合わせは右の取扱店までお願いします。

<http://www.quantum.com/jp/>

Quantum
BE CERTAIN

日本クアンタムストレージ株式会社

〒107-6012 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 12F TEL. 03-4360-9255

©2016 Quantum Corporation. All rights reserved. Quantum, QuantumロゴおよびScalarはクアンタム社の登録商標です。その他すべての名称またはロゴは、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本カタログに記載の仕様については予告なく変更することがあります。

取扱店